

床材のお手入れ方法

保守管理編



天龍木材株式会社

天竜工場

静岡県磐田市宮本350

TEL.0538-66-1125

FAX.0538-66-4973

床材のお手入れ方法

保守管理編

天然木の床材は常に呼吸をしています。不断の愛情を持ってお使いいただくことが、保護管理の基本になります。

フローリングを傷めないためのご注意

キズ防止のために

- ・家具やイスが床と接する面にフェルトや柔らかいゴムキャップなどをつけると、キズを防ぐだけでなく防音上も効果的です。
- ・洋傘や先の尖った器物の持ち込みはキズの原因になります。出来るだけ持ち込みを避け、持ち込む場合でも床面に触れさせないように注意してください。

キャスター付の椅子について

- ・キャスター付の椅子をご使用の際は必ず「床保護用チェアシート」等で床表面を保護するか、ゴム製のローラーが付いたキャスターを使用してください。

キャスター付き家具について

- ・キャスター付き家具を使用されますと床材が破損したり、表面にへこみキズが生じたりします。置敷のカーペットなどを敷いて使用してください。

家具移動について

- ・書棚、整理棚などの移動や位置の微調整をおこなう場合は、棚の中の荷物が入ったまま引きずるのではなく、面倒でも中の荷物を一旦出してから棚を持ち上げて移動するようにして下さい。

冷蔵庫やピアノなどの重量物を置く場合

- ・ピアノのような重量物で点荷重の懸かる家具は、重量を分散させるために脚部の床上に小幅の板や専用のインシュレーターを必ず置いて下さい。

ペットについて

- ・ペットのツメでフローリングの表面を傷つけたり、排泄物で変色したりする場合がありますのでご注意下さい。

マット・カーペットの固定

- ・ホットカーペットは、フローリング面に敷きこんで熱が直接加わるようなご使用方法は避けて下さい。また、温風ヒーターなどをご使用になる場合は、暖房器具より出る熱風が床面に直に吹き付けることのないようご注意下さい。いずれの場合でも、床表面にヒビ割れ(クラック)が生じたり、継ぎ目に大きく隙間が出たり、熱による焼けで変色する恐れがあります。

床材のお手入れ方法

保守管理編

万が一、床を傷つけたり、汚したりしてしまったら

軽微なキズ

- ・引っかけキズ、小さな欠け、へこみ等の軽微なキズの場合、ホームセンター等で市販されている 床材用補修キット、補修液、パテ等で補修することが出来ます。
- ・タバコ、アイロン等の焦げ跡
熱による焦げ跡は一度つくると取れません。充分にご注意下さい。またタバコの黄色いやニは、アルコールを含ませた布で拭き取って下さい。

子供の落書きなど

- ・クレヨン、油性マジック、水性インキなどが付着した場合は、アルコールまたはシミ抜き用のベンジンを含ませた布で軽く速やかに拭き取って下さい。

洗剤、灯油、コーヒーなど

- ・薬品、液体洗剤、コーヒーや醤油などをこぼした場合は、すぐに拭き取って下さい。時間がたつとシミになって取れなくなる場合があります。

気温・湿度の変化による対応

年間を通じて気温、湿度の変化に注意して下さい。

- ・日ごろから室内の通気が充分おこなわれるよう換気にご注意下さい。(特に長期休暇時)
- ・梅雨時には、室内の湿度の上昇にご注意下さい。
- ・冬季には、暖房機器の使用による影響で、室内が乾燥する場合があります。長時間乾燥した空気にさらされるとフローリングが収縮を起こし、目地のスキや反り等が生じる場合がありますので、適度な湿度を保つように気をつけて下さい。

床材のお手入れ方法

保守管理編

水濡れ・日当たりについて

水濡れ

木質フローリングは水気を嫌います。長時間濡れたままにしておきますと、ヒビ割れ(クラック)やシミ、変色のもとになりますので、速やかに拭き取って下さい。

- ・観葉植物などの鉢には必ず水受け用の皿などを敷いて、水やりの時に床面にこぼれないよう充分注意して下さい。
- ・台所や洗面所周辺など、水が飛び散る恐れのあるところではマットを敷いて保護してください。また湿ったマットを放置しておきますと、マットが吸った水分をさらにフローリングが吸ってしまうので、湿ったマットは乾燥させ、常に乾いたマットが敷かれているように心がけて下さい。
- ・窓や縁側からの雨の吹き込みに注意して下さい。フローリングが濡れた場合は、速やかに拭き取って下さい。
- ・窓やサッシの結露による水滴などに注意して、フローリングが濡れた場合は、速やかに拭き取って下さい。

直射日光

窓際など、長時間にわたり直射日光があたりますと、フロア表面に日焼けによる変色やヒビ割れ(クラック)が起こる場合があります。カーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにして下さい。

虫害について

フローリング面に小さな穴が空き木クズが出てきた場合、虫害の可能性あります。一般にフローリングは高温高圧工程を経て製造されるため、原材料や製造段階において虫害になることはありません。その後の流通段階や施工後に外部から虫が飛来・侵入することで虫害は発生します。万一発生した場合は、専用薬剤を散布・注入するなど、早期対応が必要です。専用薬剤はホームセンターなどでお求めいただけます。早期対応が困難な場合は、速やかに専門業者にご相談の上、防虫処理をおこなって下さい。

天然木だからおきること

隙間について

木材は空気中の湿度が高いと湿気を吸収して伸び、乾燥してくると湿気をはき出して縮む性質があります。年間の湿度・温度の変化、空調・暖房器具の使用頻度、日当たりの良し悪し等さまざまな条件によって、フローリングの継ぎ目部分で、若干の隙間が開いてくる場合があります。フローリングも年間の湿度・温度の変化、暖房や冷房などの空調機器の使用頻度、日当たりの良し悪し等、様々な条件によってつなぎ目に若干の隙間が開いてくる場合があります。

床材のお手入れ方法

保守管理編

天然木だからおきること

床鳴りについて

音の程度にもよりますが、フローリングのつなぎ目部分がすれて音が発生することがあります。これは木の性質として伸び縮みを生じることによって発生するもので、やむを得ない現象です。商品の性能、使用上特に問題はありません。その他、水をこぼして長時間放置した場合や、水気の多いお手入れをされた場合などでも起こり得ますので、正しいお手入れ方法をお勧めします。これは生き物である木材を使用している以上やむをえない現象でありますのでご了承下さい。